

2021 年トーナメント大会運用ルール

コロナ感染対策に留意し『試合時のガイドライン』及び『審判員のガイドライン（試合時の注意事項）』を厳守すること

1. ベンチ

ベンチはトーナメント組合せ表の若い番号のチームを一塁側とする。

なお、還暦 1 回戦・2 回戦、古希 1 回戦は一塁側チームのホームゲームとし、交流戦を実施するかは両チームの話し合いによる。

2. 攻守の決定

両チームの監督はメンバー表（3 枚）を審判員に提出し、審判員立会のもとジャンケンにより先攻・後攻を決定する。

3. 大会の審判

(1) 還暦 1 回戦・2 回戦、古希 1 回戦の審判

両チームは、チーム審判登録者の中から各々 2 名を選出し、試合は 4 人制の審判とする。

球審はホームチーム(組合せ若い番号)の審判員が務めて責任審判員を兼ねる。

なお、各塁審のポジションは責任審判員が決定する。

(2) 準々決勝以降の審判

還暦並びに古希の準々決勝以降の審判員は、責任審判員・球審・塁審とも審判部が行う。

4. コールドゲーム

リーグ戦と同様に 5 回以降 7 点以上の得点差が生じた場合はコールドゲームを適用する。

ただし、還暦並びに古希とも準決勝・3 位決定戦・優勝戦ではコールドゲームを適用せず 7 回まで行う。

5. 抽選の方法

特別延長制(タイブレーク)で勝敗が決まらない場合は○×式の抽選により決定する。

その方法は、9 回終了時点の両チーム 9 名が投手から守備位置順に並び、交互に相手側監督が結果を確認するために位置し、審判員立会いのもと、くじを守備位置順に交互に引き○印の多い方のチームを勝ちとする。

●この大会運用ルールに記載した項目以外の規則は、2021 年度公認野球規則・兵還連公式競技規則及びこの大会規則によります。

●審判員は途中交代をしないこと。已むを得ず交代する場合は両チーム監督の了解を得ること。
また、審判員は所定の審判用ユニホームを着用すること。

●この大会では、試合準備やグラウンド整備、試合の運営並びに試合後の後片付けなど両チームが協力して行うこと。